

第6次焼津市総合計画将来都市像検討経過

市民参加

市民意見募集

①アンケート

ア 市民意識調査

- ・期間 毎年1月
- ・対象 市内18歳以上の市民3,000人

イ 街頭アンケート

- ・期間 平成28年4月10日
(焼津みなとまつり会場にて)
- ・対象 焼津みなとまつり来場者300人

ウ 市ホームページアンケート

- ・期間 平成28年5月～6月
- ・対象 市内在住：6人
市外在住：3人

②小中学生のワークショップ

- ・期間 平成28年5月～6月
- ・対象 市内小学6年生(1,273人)
市内中学2年生(1,250人)
- ・意見 約12,000件

③フォーカスインタビュー

- ・期間 平成28年6月～8月
- ・対象 26団体・個人2名

市民会議

- ・開催期間 平成28年6月～12月まで延べ8回開催
- ・参加者 市民委員 47人(住民基本台帳から18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して募集)
市民ファシリテーター 6人(まちづくりコーディネーター養成講座受講者から募集)
プロジェクトチーム委員(市職員) 14人
- ・実施方法 6つのグループに分かれて、それぞれ将来都市像案の検討を行う。

○市長に提案(平成28年12月20日)

6グループによる将来都市像案のうち、最も市民委員の共感度が高かったものを「基本となるもの」とし、併せて「その他に考案されたもの」も市長に提案した。

『基本となるもの』

やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら ～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

『その他に考案されたもの』

- ①ほほえみ WAKUWAKU やいづ愛 ～豊漁と交流でにぎわう潮風のまち～
- ②幸せあふれる 潮風のまち こころの港 ～誰もがイキイキ主人公～
- ③いいとこ いいもの いいひと「いっぱい」 ～海山川で織りなす文化 笑顔あふれる 活きなまち～
- ④はばたけ！駿河一の港町 豊かな風土と文化が結ぶ笑顔の理想郷 ～やっぱりいいね やいづって～
- ⑤ずっとこのまちが好き 黒潮の幸を届ける活きがイイまち ～みんなが主役、優しさで支え合うまち～

情報提供

1 広報やいづ

- ・期間 平成28年8月～平成29年1月
まで計6回掲載
- ・内容 8月 市民会議スタート
9月 策定に向けて(審議会・市民会議)
10月 市民会議(3回、4回)
11月 市民会議(5回、6回)
12月 市民会議(7回)
1月 市民会議(1回～市長提案
までの振り返り)

2 市ホームページ

- ・期間 平成28年3月から随時更新
- ・内容 総合計画策定方針
策定体制(審議会、市民会議)

3 報道

静岡新聞

- ・平成28年4月9日
(市民会議立ち上げ)
- ・平成28年6月21日
(市民会議スタート)
- ・平成28年7月8日
(審議会設置)
- ・平成28年12月22日
(市長への提案)

審議会意見及び庁内検討

- (1) 開催期間 平成29年1月～2月
- (2) 調整内容
 - わかりやすい表現とするため、方言の使用をやめ、標準的な言葉とした。
 - キャッチフレーズ部分(前段)と都市像(後段)のつながりを調整した。
 - 自ら発し、範囲・規模を大きくする意味とするため、「世界に広がる」を「世界へ広げる」とした。
 - 「水産・文化都市」とは、水産を起点に発展した文化のある都市という意味であるが、「・」を入れることで「水産都市」と「文化都市」というように別々の意味にとられてしまうため、「水産文化都市」とした。
 - 将来都市像として目指す「都市」とは、その背景に「豊かである」という想いが含まれていることから、「豊かな」という表現を除外した。

今後のスケジュール

4月～8月 基本計画策定作業

庁内会議 ↔ 市民会議

9月 パブリックコメント

10月 審議会からの答申

11月 議会へ基本構想を提出

将来都市像の庁内案

やさしさ 愛しさ いいもの「いっぱい」 世界へ広げる 水産文化都市 YAIZU